

【経営体育成基盤整備事業 三坂地区】

基盤整備による農地の大区画化を通じた担い手への農地集積・集約化（茨城県常総市）

じょうそう

体制・人材
づくり

栽培作物
・方法

加工・出荷

販売

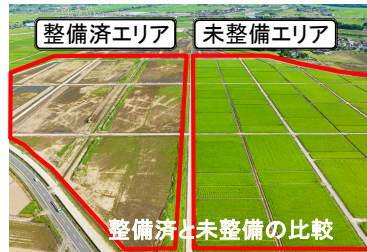
【工夫のポイント】

- 事業を契機に担い手に農地の集積・集約化を進め、地区外の農地も含んだ100ha以上の経営規模を目指す担い手を育成。
- 農業機械の大型化に併せて、農道の有効幅員を5mに整備し、作業効率が向上。
- 地域の防災・減災のため、田んぼダムの取組を開始。

基盤

農地の大区画化による作業効率の向上

- ・10aと狭小な区画を1haの大区画に整備。
- ・担い手の大型機械導入に併せ、農道の有効幅員を5mに整備。



基盤整備
(R3年～R8年)

【整備前】

ほ場が10aと小さく、農道も狭小であることから、大型機械導入の妨げになっていた。



【取組地域の概要】

○位置
茨城県 常総市

○受益面積
51.3ha
(水田48.8ha、畑2.5ha)

○工期
令和元年度～令和8年度

○主要作物
米、麦、大豆、ネギ 等

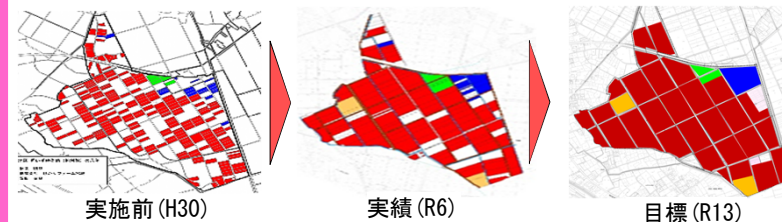
○主な支援施策
国営鬼怒川南部用水地区 (S51～S61)
・県営かん排鬼怒川南部地区(S51～S61)
・団体営土地改良総合整備事業 (S32～S33)



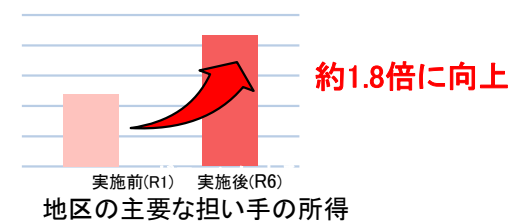
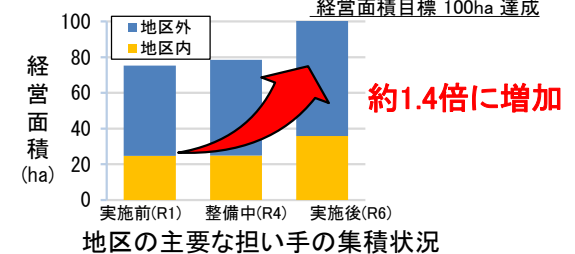
担い手

担い手への農地集積・集約化と大規模経営体の育成

- 事業を契機に担い手への農地の集積・集約化率が大幅に向上。
＜地区の農地集積・集約状況＞
実施前(H30): 22.8ha(集積44%、集約0%)
→ 実績(R6): 40.5ha(集積79%、集約96%)
→ 目標(R13): 46.2ha(集積90%、集約100%)
- 地区の主要な担い手が地区内外の農地を集積・集約し、大規模経営体を目指す。



基盤整備を契機に、担い手が農地集積・集約化に取り組み、所得が向上



低コスト化

生産コスト低減に向けた取組

- 農道の車道幅員を有効幅員5mにしたことにより、大型農業機械が活用でき、作業効率が向上。



防災・減災

田んぼダムの取組

- 平成27年度の関東東北豪雨により甚大な被害を受けた経験から、地域の防災・減災対策として田んぼダムの取組を開始。

